

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-93771

(43)公開日 平成6年(1994)4月5日

(51)Int.Cl <sup>5</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
E 06 B 1/70		A 2118-2E		
E 05 D 15/06	1 2 4	A 7151-2E		
E 06 B 7/14		7231-2E		
7/16	D	7231-2E		

審査請求 有 請求項の数4(全5頁)

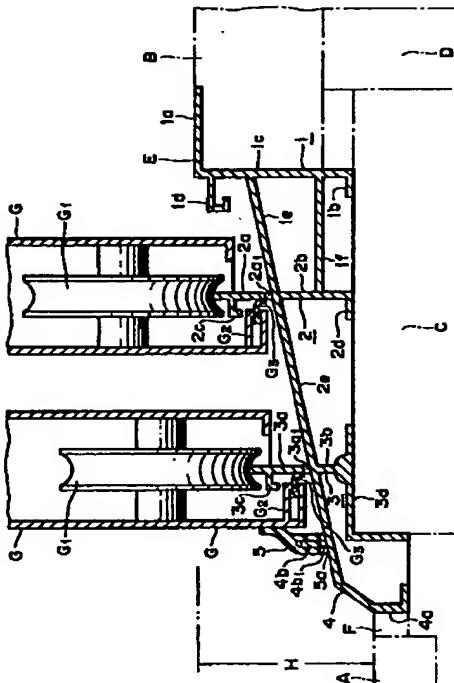
(21)出願番号	特願平4-268168	(71)出願人 592210795 江戸 久男 東京都葛飾区東金町2丁目32番16号
(22)出願日	平成4年(1992)9月10日	(71)出願人 592210809 有限会社エス建築計画事務所 東京都葛飾区東金町5丁目1番1号
		(71)出願人 592210810 株式会社金町コーポレーション 東京都葛飾区東金町2丁目32番16号
		(74)代理人 弁理士 旦範之(外2名)
		最終頁に続く

(54)【発明の名称】 サッシの下部枠

(57)【要約】

【目的】幾重にも雨水の侵入を防止する構造とすることにより屋内と屋外との段差をなくし車椅子での往来を容易にし、かつ、溝を形成しなくとも雨水の侵入を防止することができるものである。

【構成】少なくとも引き戸Gの2枚をガイドするレール片2a, 3aと、該レール片間を連結する屋外に向かって傾斜する連結片1e, 2eと、該連結片より屋外側に延長された傾斜部4に固定され、先端が屋外側引き戸の下部と接するゴム等の弾性材によって形成された防水部材5と、前記連結片より屋内側に延長された取付部1に形成された水返し片1dとを形成し、また、前記取付部に形成する水返し片2c, 3cを前記レール片の屋外側面に形成してなるものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも引き戸の2枚をガイドするレール片と、該レール片間を連結する屋外に向かって傾斜する連結片と、該連結片より屋外側に延長された傾斜部に固定され、先端が屋外側引き戸の下部と接するゴム等の弾性材によって形成された防水部材と、前記連結片より屋内側に延長された取付部に形成された水返し片とを具備したことを特徴とするサッシの下部枠。

【請求項2】 少なくとも引き戸の2枚をガイドするレール片と、該レール片間を連結する屋外に向かって傾斜する連結片と、該連結片より屋外側に延長された傾斜部に固定され、先端が屋外側引き戸の下部と接するゴム等の弾性材によって形成された防水部材と、前記レール片の屋外側面に形成された水返し片とを具備したことを特徴とするサッシの下部枠。

【請求項3】 少なくとも引き戸の2枚をガイドするレール片と、該レール片間を連結する屋外に向かって傾斜する連結片と、前記レール片の屋外側面に形成された水返し片と、前記連結片より屋内側に延長された取付部に形成された水返し片とを具備したことを特徴とするサッシの下部枠。

【請求項4】 少なくとも引き戸の2枚をガイドするレール片と、該レール片間を連結する屋外に向かって傾斜する連結片と、該連結片より屋外側に延長された傾斜部に固定され、先端が屋外側引き戸の下部と接するゴム等の弾性材によって形成された防水部材と、前記レール片の屋外側面に形成された水返し片と、前記連結片より屋内側に延長された取付部に形成された水返し片とを具備したことを特徴とするサッシの下部枠。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は家屋の玄関、勝手口、ベランダ等の出入口、特に、マンションのベランダ側から部屋へ、あるいは部屋からベランダへの車椅子での往来が容易に行えるように改良を施したサッシの下部枠に関する。

## 【0002】

【従来の技術】家屋における前記したような出入口のサッシの下部枠は、雨水が室内側に侵入しないように、室内側が屋外側より一段高く形成されているのが一般的である。そのために、車椅子での通過が困難となるために、車椅子での出入の際には付添い者の力を借りなければならなかった。

【0003】そこで、近年、前記した欠点を改良したものとして、屋外側床にスロープを形成し屋内側と室内側との段差をなくして車椅子での往来が一人でも行えるようにしたものが開発されている。その場合、雨水が室内側に侵入しないように屋外側のサッシに近接した部分に溝を形成してベランダ等に溜まった水を排水するようにしたものがある。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、前記した従来における技術にあっては、ベランダ等に溝を形成するためにその施工作業が面倒になると共に、その溝に蓋を取り付け、排水手段も講じなければならず、部材が増えてコストが高くなり、また、溝の掃除も行わなければならぬいため掃除の面倒が増えるという問題があった。

【0005】本発明は前記した問題点を解決せんとするもので、その目的とするところは、幾重にも雨水や砂埃の侵入を防止する構造とすることにより屋内と屋外との段差をなくし、かつ、排水溝を形成しなくとも雨水の侵入を防止することができる車椅子での往来が容易となるサッシの下部枠を提供せんとするにある。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明のサッシの下部枠は前記した目的を達せんとするもので、その手段は、少なくとも引き戸の2枚をガイドするレール片と、該レール片間を連結する屋外に向かって傾斜する連結片と、該連結片より屋外側に延長された傾斜部に固定され、先端が屋外側引き戸の下部と接するゴム等の弾性材によって形成された防水部材と、前記連結片より屋内側に延長された取付部に形成された水返し片とを具備したものである。

【0007】また、本発明の手段は、前記取付部に形成する水返し片を前記レール片の屋外側面に形成してもよく、さらに、前記防水部材を取り除き、水返し片を取付部とレール片とに形成してもよい。また、前記防水部材と、取付部およびレール片との両方に水返し片を形成してもよい。

## 【0008】

【作用】前記した如く構成した本発明のサッシの下部枠は、第2レール、第1レールに形成した水返しによって、雨水や砂埃は侵入を阻止され、さらに、取付部に形成した水返し片においても侵入は阻止され、従って、二重、三重で雨水や砂埃の侵入が阻止される。

【0009】また、雨水が外側と内側引き戸との間あるいは内側引き戸の屋内側に雨水が侵入したとしても、この雨水はレール片に形成した水抜け孔および防水部材の水抜け孔を介して屋外に排水されるものである。

## 【0010】

【実施例】以下、本発明に係るサッシの下部枠の一実施例を図面と共に説明する。図1は取付状態の断面図、図2は同上のサッシの下部枠と引き戸の拡大断面図である。図1において、Aはテラス等の屋外床仕上材にして、モルタル上に形成されている。Bは屋内床仕上材、Cは前記屋外床仕上材Aと屋内床仕上材Bとの間に固定された敷居材、Dは前記屋内床仕上材Bと敷居Cとを支える床柱である。

【0011】Eは前記屋外床仕上材Aと屋内床仕上材Bとの間の敷居C上に配置される本発明に係るサッシの下

部枠にして、アルミの引抜き加工によって製作されている。このサッシの下部枠において、1は上面の固定片1aが前記屋内床仕上材Bの上面にネジ等で固定され、下面の脚片1bが前記敷居材Cに載置され、垂直面1cが屋内床仕上材Bの側面に沿う取付部にして、前記垂直面の上方に先端がコ字状をした水返し片1dが形成されると共に室外方向に下降する連結片1eと、敷居材Cと略平行な補強片1fとが延長されている。

【0012】2は前記連結片1eと補強片1fとに連結された第1レール部にして、連結片1eより上方に形成されたレール片2aと、連結片1eより下方に形成された支持片2bとから構成されている。そして、前記レール片2aには屋外に向かってL字状の水返し片2cが形成されると共に、前記支持片2bには敷居材Cに載置される脚片2dが形成されている。さらに、第1レール部2からは前記連結片1eと平行に延長された連結片2eが形成されている。なお、前記レール片2aには水抜き孔2a<sub>1</sub>が形成されている。

【0013】3は前記連結片2eに連結された第2レール部にして、連結片2eより上方に形成されたレール片3aと、連結片2eより下方に形成された支持片3bとから構成されている。そして、このレール片3aにも水返し片3cが形成され、また、支持片3bの下端には敷居材Cの上面から側面に当接するL字状の脚3dが形成されている。なお、レール片3aにも水抜き孔3a<sub>1</sub>が形成されている。

【0014】4は車椅子での往来を容易にする為に前記第2レール部3から前記連結片2eと平行に延長された斜面部にして、先端が折曲されて図1におけるモルタルに当接する終端片4aとなっている。また、この斜面部4の途中には起立片4bが形成されると共に水抜き孔4b<sub>1</sub>が形成されている。

【0015】そして、前記斜面部4の終端片4aと屋外床仕上材Aとの間にゴム、合成樹脂等によるシーリング材Fが介在されている。また、前記起立片4bには、先端が後述する外側引き戸Gの下部に当接するゴム等の弾性材による防水部材5が嵌合されている。なお、この防水部材5にも前記起立片4bの水抜き孔4b<sub>1</sub>と一致する部分に水抜き孔5aが形成されている。

【0016】Gは引き戸にして、内側と外側の2枚から構成されている。そして、この内側の引き戸Gの戸車G<sub>1</sub>はレール片2a上に乗っており、また、外側の引き戸Gの戸車G<sub>2</sub>はレール片3aに乗っている。そして、内側と外側の引き戸Gにおける下部内面には挟持部材G<sub>3</sub>によって挟持された気密材G<sub>3</sub>が形成され、この気密材G<sub>3</sub>の先端がレール片2a、3aの側面に接觸している。

【0017】次に、前記した構成に基づいて動作を説明するに、引き戸Gはレール2a、3aに戸車G<sub>1</sub>がガイドされることによって開けたり閉めたりすることができ

る。そして、閉めた状態において、防水部材5の先端が引き戸Gの下部に接触しているので、雨水や砂埃の侵入を防止できる。また、防水部材5と引き戸Gとの隙間から侵入した雨水や砂埃は、各引き戸Gに取付けられた気密材G<sub>3</sub>が第1レール2aと第2レール3aと接觸しているので、この部分において阻止される。

【0018】さらに、本発明にあっては、第2レール3aと第1レール2aに形成した水返し片3c、2cによって、前記気密材G<sub>3</sub>を通過した雨水や砂埃は侵入を阻止され、さらに、取付部1の水返し片1dにおいても侵入は阻止され、従って、二重、三重で雨水や砂埃の侵入は完全に阻止されるものである。

【0019】このように、雨水や砂埃が屋内に侵入する事がないので、ベランダ等の屋外と屋内とに段差をほとんど形成しなくともよく、又、車椅子での往来においては斜面部4、起立片4b、レール片3a及びレール片3bを介して車輪が通過するので抵抗が生じず、従って車椅子や移動ベッドでの屋内と屋外との往来を容易に行うことができるものである。

【0020】なお、雨水が外側と内側引き戸Gとの間あるいは内側引き戸Gの屋内側に雨水が侵入したとしても、この雨水は水抜き孔2a<sub>1</sub>、3a<sub>1</sub>、4b<sub>1</sub>および防水部材5の水抜き孔5aを介して傾斜片4を伝わった屋外に排水される。

【0021】

【発明の効果】本発明は前記したように、引き戸の戸車をガイドするレール片を連結する連結片を屋外に向かって下がる傾斜面に形成し、かつ、該レール片に水返し片を形成すると共に前記レール片より屋内側に位置する取付部にも水返し片を形成したので、サッシの下部枠と引き戸との間からの雨水や砂埃を防止できる。

【0022】また、前記連結片に侵入した雨水は、該連結片が屋外に向かって傾斜しているので、常に屋外に向かって雨水は排水され、さらに、外側の引き戸の下部と接するゴム等の弾性材による防水部材を前記サッシの下部枠に取付けたことにより、より雨水や砂埃の侵入を防止することができる等の効果を有するものである。従ってベランダ等の屋外と屋内との段差Hを従来の45mm乃至65mmから15mm乃至20mm程度にすること

ができ、付添い者の力を借りることなく容易に車椅子での往来が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るサッシの下部枠を取付けた状態の断面図である。

【図2】図1におけるサッシの下部枠の拡大断面図である。

【符号の説明】

1 取付片

1d 水返し片

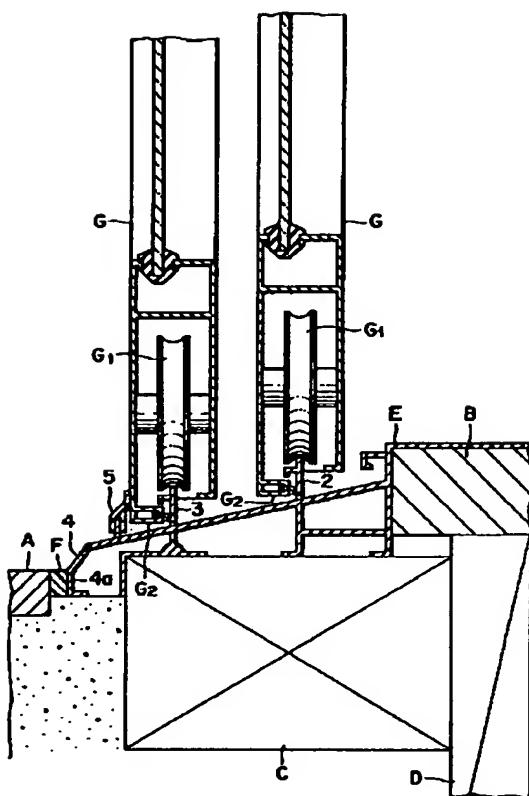
5

2a レール片  
 2a<sub>1</sub> 水抜き孔  
 2c 水返し片  
 3 第2レール部  
 3a レール片  
 3a<sub>1</sub> 水抜き孔

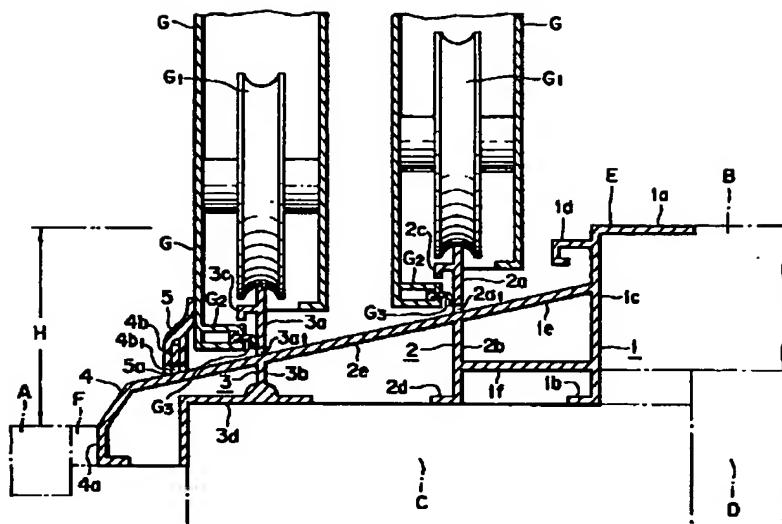
3c 水返し片  
 4 傾斜部  
 4b<sub>1</sub> 水抜き孔  
 5 防水部材  
 5a 水抜き孔

6

【図1】



【図2】



## フロントページの続き

(71)出願人 592210821

尾臺 拓

埼玉県八潮市中央1丁目6番20号 グレー  
スヒル898-502号

(71)出願人 592210832

佐藤 幸夫

東京都足立区弘道2丁目10番5の209号

(72)発明者 江戸 久男

東京都葛飾区東金町2丁目32番16号

(72)発明者 鈴木 進

東京都葛飾区東金町5丁目1番1号 有限  
会社エス建築計画事務所内

(72)発明者 千葉 紀夫

東京都葛飾区東金町2丁目32番16号 株式  
会社金町コーポレーション内

(72)発明者 尾臺 拓

埼玉県八潮市中央1丁目6番20号 グレー  
スヒル898-502号

(72)発明者 佐藤 幸夫

東京都足立区弘道2丁目10番5の209号

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**